

6月5日は『プロポーズの日』、『ゼクシィ』が語る最新事情

今どき『イケ婿』(※1)はあたりまえ!? 時間も愛も惜しまず尽くす『僕たち! 喜ば世代』 2つの世代(※2)を徹底調査 「プロポーズ」と「結婚準備/結婚式」で浮かび上がった“差”

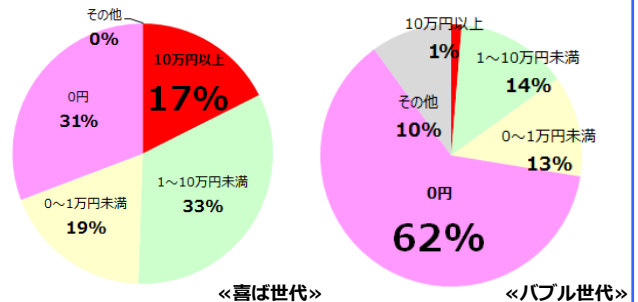
株式会社リクルートマーケティングパートナーズ(本社:東京都中央区 代表取締役社長:山口 文洋)が企画制作する結婚情報誌『ゼクシィ』は、ジュンブライドに向け、結婚歴5年未満の25~35歳と結婚歴20年以上の45~55歳に対し『結婚に関するアンケート』(n=451 インターネット調査 2016年4月実施)を行いましたので、概要についてお知らせいたします。

時代に合わせ、様々な人間模様を窺い知ることができる「結婚」という人生の一大イベント。昨今、結婚式準備に積極的な新郎の登場(=イケ婿※1)が一般化してきましたが、今回の調査で、そのさらに上をいく、“笑顔を見ることが一番のモチベーション”と考える男子=『僕たち! 喜ば世代』の実態が明らかになりました。

※2:以降、結婚歴5年未満の25~35歳=『喜ば世代』。対比として、結婚歴20年以上の45~55歳=『バブル世代』と記します。

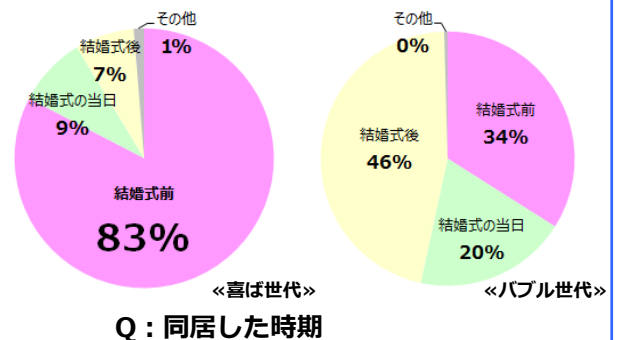
『喜ば世代』は約5人に1人が10万円以上かけプロポーズ! 一方、『バブル世代』は1%

愛する人への一世一代の決意であるプロポーズ。アンケート結果では、プロポーズの金額に大きな差が出ました。『喜ば世代』の17% = 約5人に1人は、プロポーズにかけた金額が「10万円以上」と答え、『バブル世代』はわずか1%。「0円(予算なし)」は62%と時代イメージとは異なり、堅実なプロポーズが多かったようです。また、プロポーズに向け「相手を喜ばせたかった」と回答した『バブル世代』は0%だったのに対し、『喜ば世代』は21.1%と回答。相手のことを考え、そこに費用がかさむことも厭わない、世代の特徴が顕著に出る結果となりました。(調査詳細は次頁)



結婚準備や結婚式では“ゲスト”を喜ばせたい! 今どきは“ふたりで結婚式準備”が基本。背景に同居時期。

今回の調査で特筆すべきは、同居時期の差です。『バブル世代』は、結婚式後に同居するケースが半数近くを占めますが、『喜ば世代』だと7%。逆に、結婚前に同居するケースが83%で、今どきカップルのスタンダードとなっていると言えます。結果、結婚式に向け、ふたりが一緒に行動する機会が増え、一緒に準備を行うことも多くなりました。実際にどんな結婚式準備をしたか聞いてみると、ペーパーアイテム、プロフィールムービーなど、手作りアイテムが以前に比べ約15倍。ひと昔前までは、女性が中心となって結婚準備を進めていくことが一般的と捉えられていましたが、今では当たり前のように、ふたりで準備を進め、みんなが楽しめる、みんなの結婚式を目指す傾向が強まっています。(調査詳細は次頁)



『ゼクシィ』編集長・平山彩子(右写真)が語る 『僕たち! 喜ば世代』

生き方の多様化が進み、結婚・結婚式の在り方も変化しています。同居タイミングの影響もあり、どちらか一方がどちらかを幸せにしなければいけないという役割意識ではなく、結婚を通してふたりで協力し幸せになっていく、という気持ちがさらに強まっているように感じます。こうした状況において、損得感情や役割行動ではなく、ごく自然と大切な相手の喜ぶ顔がみたいと感じ、思いを尽くす『喜ば世代』が定着してきたのだと捉えています。今では、ふたりで参加する結婚準備のワークショップなども珍しくありません。結婚準備も、ふたりで進めることが“当たり前”の時代になっています。



リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry

プロポーズに関するアンケート

Q:プロポーズをした、またはされた「場所」はどこでしたか。(N=331/複数回答)

(%)

n=		高級レストラン またはホテルの 部屋	非日常の場所	彼または 彼女の自宅	車の中	結婚式での挙式 や披露宴中	その他
男女25-35歳	182	18.7	25.3	30.8	9.3	2.7	13.2
男女45-55歳	149	4.0	16.2	22.8	48.3	0.0	8.7

⇒『喜ば世代』は、高級レストランまたはホテル、非日常の場所を選ぶ傾向が見られ、一方、『バブル世代』の約半数が車の中でプロポーズを実施。背景には、昨今の業界サービスの多様化(プロポーズプラン、商品など)と、シェアプロポーズ(プロポーズを周囲の人と共有する)という考え方の定着化が考えられる。

Q:プロポーズの場所は何を基準に選びましたか。(N=165/複数回答)

(%)

n=		高級感のある場所で 相手を喜ばせたかった から	神聖な場所で想いを 伝えたかったから	ふたりの思い出の 場所だったから	いつも通りのふたりで いられる場所 だったから	その他
男性25-35歳	90	21.1	6.7	17.8	46.7	13.3
男性45-55歳	75	0.0	0.0	14.7	82.7	5.3

⇒プロポーズの場所選びにおいて、「相手を喜ばせたい」という想いを判断基準にした『喜ば世代』は21.1%。一方、『バブル世代』は0%と顕著な差が出た。

Q:プロポーズをした、またはされたときにかかった費用(食事代、宿泊代、贈り物、業者依頼代など)について教えてください。(N=171/単一回答)

(%)

n=		10万円以上	5万円 ~10万円未満	1万円 ~5万円未満	1万円未満	費用は かかっていない	知らない 覚えていない
男性25-35歳	91	17.6	7.7	25.3	18.7	30.8	0.0
男性45-55歳	80	1.3	2.5	11.3	12.5	62.5	10.0

⇒『喜ば世代』の17.6%がプロポーズに10万円以上予算をかけたと回答。一方、『バブル世代』は1.3%。また、『バブル世代』の6割以上が、プロポーズに予算をかけないと回答。

Q:プロポーズをした、またはされたときに贈ったもの、または贈られたものについて教えてください。(N=171/複数回答)

(%)

n=		婚約指輪	婚約指輪以外の ジュエリー	花束	手紙	その他	贈り物はなかった
男性25-35歳	91	29.7	7.7	12.1	11.0	3.3	38.5
男性45-55歳	80	16.3	1.3	2.5	3.8	0.0	77.5

⇒『喜ば世代』の約6割以上が、プロポーズとともに、贈り物を送る。一方、『バブル世代』の約8割が、プロポーズの際、贈り物を送らなかった。

同居に関するアンケート

Q: ふたりが一緒に住んだタイミングはいつですか。(N=451/単一回答)

n=		お付き合いをしていた ときから (結婚が決まる前)	結婚が決まって、 結婚式の準備を はじめてからすぐ	結婚が決まって、 結婚式当日の 直前1カ月以内で	結婚式の日以降から	その他
男女25-35歳	230	39.2	28.7	9.6	13.4	9.1
男女45-55歳	221	14.9	8.1	12.2	62.5	2.3

⇒『喜ば世代』の77.5%が結婚式前に同居を開始。結婚が決まる前に同居を始めるケースも約4割。
一方、『バブル世代』の62.5%が結婚式以降に同居を開始。結婚式までにふたりで過ごす時間に大きな差があることがわかる。

結婚式の準備に関するアンケート

Q: 結婚式の準備についてお聞きします。それぞれおこなったことにチェックしてください。(N=219/複数回答)

n=		会場探しの準備 (候補出しや予約) をおこなった	ドレス試着に行ったま たは付き添った	小物、ヘアメイクの 打ち合わせに行った または付き添った	結婚式の打合せに 毎回行った	ペーパーアイテムや 装飾の手作りをした	プロフィールムービーや エンドロールムービーなどの 映像系を手作りした
男性25-35歳	110	74.5	76.4	53.6	75.5	28.2	25.5
男性45-55歳	109	72.5	68.8	27.5	63.3	1.8	1.8

ブーケを 手作りした	アクセサリを 手作りした	プログラムや 演出を考えた	予算の管理を おこなった	席札にメッセージ を書いた	この中には ない
3.6	5.5	31.8	48.2	33.6	10.0
0.9	0.9	12.8	27.5	3.7	9.2

⇒ペーパーアイテムや装飾、プロフィールムービーなど、手作りしたケースが『バブル世代』に比べ『喜ば世代』は約15倍に。また、プログラムの演出を考えたり、席札にメッセージを書いたり、これまで女性が中心となっていた細かな部分まで男性も入り込んできていることがわかる。

入籍に関するアンケート

Q: 入籍のタイミングはいつでしたか。(N=451/単一回答) (%)

n=		結婚式の前	結婚式の当日	結婚式のあと	入籍していない
男女25-35歳	230	82.6	8.7	7.4	1.3
男女45-55歳	221	34.0	19.5	46.1	0.4

⇒『喜ば世代』の82.6%が結婚式の前に入籍。一方、『バブル世代』の約半数が結婚式後に入籍。